

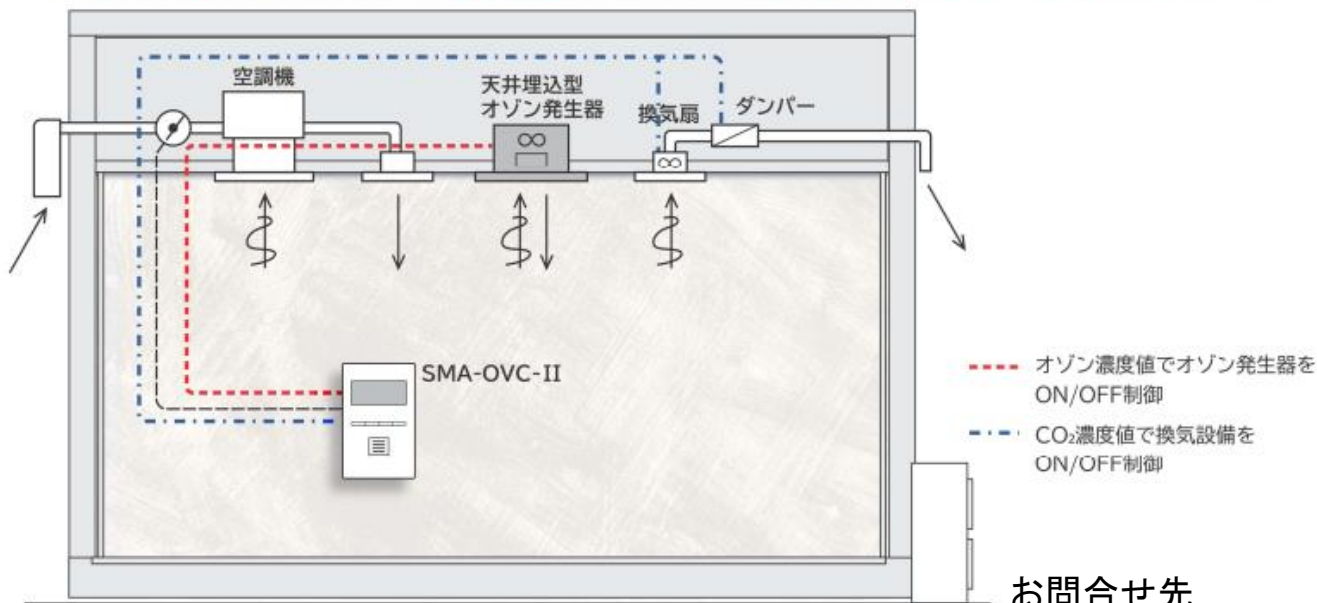
オゾン濃度によるオゾン発生器(ON/OFF)制御

オゾンは除菌、消臭に有効ですが、人体に対しては濃度に注意をする必要があります。日本産業衛生学会では、1日8時間、週40時間の労働に対し、0.1ppmを許容濃度として管勧告しています。(1963年) また、アメリカ合衆国食料医薬品局(FDA)では24時間の最大許容濃度として0.05ppmの基準が定められています。(1992年)

オゾン濃度センサを用いない制御では、タイマーによる間欠運転で濃度調整をしており、除菌・消臭効果と人体に対する許容濃度の点では成り行きとなっています。

オゾンCO2デュアルセンサー・コントローラを用いることにより、許容濃度の範囲内で最大減の除菌・消臭効果を発揮することが可能となります。

CO2濃度による適正な自動換気とオゾンによる除菌・脱臭を実現!



お問合せ先

株式会社ディー・エス・アイ(販売代理店)

担当 豊田 info@dsi-net.jp

TEL 050-3577-4663 FAX 050-3488-1149